

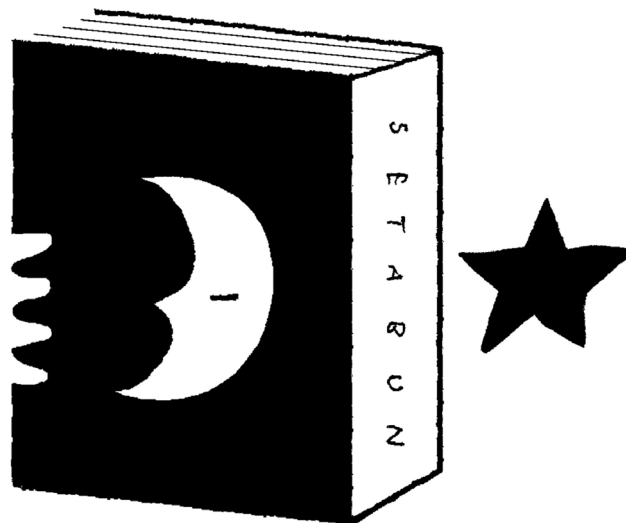
# PRESS RELEASE SETABUN

2020/10/1 世田谷文学館プレスリリース

## 「本と輪 この3冊」

だいたい金曜日の本

2020年10月～ Web公開はじめます



hon-to-wa  
Literary Meeting Place

hon-to-wa 〈ほんとう〉の選書企画を、世田谷文学館ホームページでもお楽しみいただけます。

各分野で活躍される皆さまに、世田谷文学館が用意したお題に対して、3冊の本を挙げていただきました。ロゴマークのデザインは、クラフト・エヴィング商會さんです。当館ライブラリー〈ほんとう〉で不定期発行しているブックリスト「本と輪この3冊」からご紹介します。

子ども向けの本から、洋書や哲学書まで、旅の本、食の本、写真集など、幅広い分野から選んでいただきました。意外なテーマも出てきます。当館ライブラリー〈ほんとう〉の雰囲気、ホームページでも味わっていただければと思います。だいたい金曜日に更新していきますので、どうぞお楽しみに。

## 多彩な選者

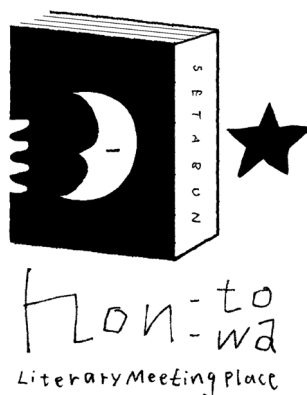
角田光代（作家）、荒井良二（絵本作家）、土井章史（編集者）、君島佐和子（「料理通信」責任編集）、中山晴奈（フードデザイナー）、鈴木芳雄（編集者・美術ジャーナリスト）、平野太呂（写真家）、山崎まどか（文筆家）、大橋歩（イラストレーター）ほか、さまざまな分野の第一線で活躍する皆さんに「この3冊」を選んでいただいています。



大橋歩／平野太呂／中山晴奈／鈴木芳雄  
※プロフィール画像の広報貸出は行いません

## テーマによる選書

「角田光代さんに聞いた子どもの頃の思い出の本3冊」、「荒井良二さんに聞いた大好きな外国の絵本3冊」、「鈴木芳雄さんに聞いた編集に唸る写真集3冊」など、テーマもさまざまです。あたらしい本との出会いの場になればうれしいです。本は選者によるコメント付きでご紹介します。2017年4月から始まったライブラリー〈ほんとう〉の選書企画を、当館公式ホームページでもご紹介していきます。だいたい金曜日の更新をお楽しみに！



クラフト・エヴィング商会 (craft ebbing & co.)  
吉田浩美と吉田篤弘によるユニット名。著作の執筆と、装幀を中心としたデザイン・ワークを主として活動している。『稲垣足穂全集』『らくだこぶ書房21世紀古書目録』で2001年講談社出版文化賞ブックデザイン賞受賞。

©クラフト・エヴィング商会  
「本と輪 この3冊」ロゴマーク



コンテンツ：本と輪 この3冊 だいたい金曜日の本

URL：<https://www.setabun.or.jp/>（世田谷文学館公式ホームページ）

お問い合わせ：

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10

世田谷文学館 学芸部 TEL：03-5374-9111

ライブラリー〈ほんとう〉 ※選書は〈ほんとう〉でも手に取ってご覧いただけます